
2020年度 「個の力」奨学金制度について



1. 「個の力」奨学金制度について

50周年記念事業寄付金の剰余金を活用

+Professional奨学金

個の力奨学金

挑戦的活動・研究に取り組む学生を支援

基盤能力 開花コース

ヒューマニティやコミュニケーション能力といった
基盤能力の“個の力”

> 個人で学外の活動を行う学生

本人にその活動を行う明確な目的があり、
学生生活の良い経験にできる見込みがある

最大で20万円の支援

専門性の高い知識・技能を深めた“個の力”

> より深い知識・技能を求めて研究に
取り組む学生

本人に研究テーマに対する強い意欲があり、
成果を出して成長する見込みがある

専門性 深化コース

詳細は ▷ **HUSNAVI**

1. 「個の力」奨学金制度について

趣旨、コース概要及び申請資格

学部学生、大学院学生、専攻科生及び短期大学部学生を対象とし、個人の方で挑戦的な活動・研究に取り組む者に対して最大20万円の経済的支援を行う。

なお、コースは基盤能力と専門性に対応した2コースがある。

基盤能力開花コース

ヒューマニティや思考力といった基盤能力の“個の力”を発揮することをめざして、大学の通常プログラムにはない活動に挑戦する学生を支援

＞ 個人で(人的、地理的に)学外の活動を行う学生

本人にその活動を行う明確な目的があり、学生生活の良い経験にできる見込みがある

- ・参加したいボランティアがあるが、現地まで自費で行かなければならない
- ・個人のスキルアップのための資格取得、講習の受講をしたいが、受講料が高くて参加できない
- ・海外での語学研修や学生のうちに海外を経験しておきたいが費用が厳しい

専門性深化コース

専門性のある知識・技能といった“個の力”を深めることをめざして、カリキュラムにとらわれず、自ら求めた研究テーマに挑戦する学生を支援

＞ より深い知識・技能を求めて研究に取り組む学生

本人に研究テーマに対する強い意欲があり、成果を出して成長する見込みがある

- ・材料、データを増やして、卒業研究をグレードアップしたい
- ・もっと高性能な機材を使えば、研究が進む
- ・1～2年生のうちから、研究費を使って、本格的に研究をしたい

- * 社会情勢を鑑みて、国内外の移動が伴う活動については、大学が中止等の判断をする場合があります。
- * 挑戦的な活動・研究は何らかの直接的な費用がかかるものを対象とする
- * 学内で企画募集される研修等は、挑戦的な活動・研究の対象外とする
- * 学生表彰の該当資格取得を目的とした活動は、原則対象外とする
- * 別々な申請で複数人が同一行程をとる様な計画は、原則として対象外とする
ただし各々にしっかりとした目的等がある場合は除く
- * 休学中の学生は申請できません

2. 給 付 金 額

基盤能力開花コース

学外の活動を行うために必要な費用に見合う、定額(5万円、10万円、15万円、20万円のいずれか。ただし、算定額が5万円未満の場合は実費を奨学金として給付する。

算定基準については、下記のとおりとする。 ※2020年度より導入

費用の算定基準

○旅 費

航空賃 片道普通運賃等の定価と考えられる運賃の70%を実勢価格と見て、その50%

鉄道等運賃 経済的合理的な経路の運賃の50%

宿泊費 1泊につき5,000円

食費滞在費 費用として認めない

○参加費等 授業料、大会登録料、入場料等は原則、全額を算定

○物品費

カメラ、スポーツ用具等の活動終了後も価値が残存するものは金額の50%。なお、物品費の合計が活動全体費用の50%を超過しないこと

○その他の費用

原則として必要な金額の50%とするが、内容によっては全額算定とする

ライセンス料等の活動終了後も利用できるものは50%
パスポート費用、出入国に関わる費用、食費、旅行等の保険は計上の対象外とする

2. 給 付 金 額

専門性深化コース

研究を行うために必要な費用を、上限20万円まで大学経費として支出を認める。

支出対象となるもの

研究に関する物品(材料、試薬など)、機器(測定器具、部品など)、旅費(調査・情報収集、成果発表など)等の大学の研究費として認められる費用を支出できる

標準的な機能のPCやファイル等の文房具など、学生が負担すべきものは支出できない

※国内の学会に参加するための旅費交通費は、5万円を上限とする
(学生の学会活動等に係る経費の取扱要領を適用)

3. 採用条件

「個の力」奨学金の奨学生として採用されるためには、以下の条件が必要となる

① 計画すること

自分のやりたいこと、目指すものをよく考える。挑戦的な活動・研究として実施するために、情報を収集し、しっかりと計画を立てる。

② 実施すること

立てた計画に従って活動・研究を実施する。計画どおり行かないときにも投げ出さず、よく考え情報を集め、計画を立て直して最後まで遂行する

③ 報告すること

実施した活動・研究の成果を報告する。50周年記念事業の寄付者、大学の関係者、なにより自分自身に対して、活動・研究の成果を形に残す。

3. 採用条件

④ 大学の教職員から成長につながる挑戦的な活動・研究として推薦してもらうこと

基盤能力開花コース:

活動を行う明確な目的があり、学生生活の良い経験として捉えることのできる挑戦的な活動として教員が推薦したもの

専門性深化コース:

研究テーマに対する強い意欲があり、成果を出して成長することができる挑戦的な研究として指導教員が推薦したもの

※最終的には申請者の所属学科長(部門長)・専攻長が承認したもの

4. 申請方法

<u>基盤能力開花コース</u>	<u>専門性深化コース</u>
①「個の力奨学金」申請書及び計画書を作成する	
<p>自分が挑戦したい活動や研究について、推薦者となるクラス担任や学科の教員及び指導教員等に相談したうえで、情報収集を行い、取り組みたい計画内容を立ててください。その際に計画の実効性についても担当教員と相談するようにしてください。</p>	
②「個の力奨学金」申請書及び計画書の事前確認	
<p>必ず窓口となる学生課の担当者と7月1日(水)までに申請内容や計上する経費について確認をしてください。確認の際には、根拠となる資料等を持参すること。</p>	<p>相談・確認の窓口は学生自身が所属する学科となります。各学科の担当者については学生課で確認し、学科の担当者から指導・助言を受けてください。</p>
③申請書及び計画書の提出	
<p>申請書に推薦者及び所属学科長等の署名・捺印をもらい、学生課へ提出してください。</p> <div data-bbox="369 1169 952 1409" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"><p>■ 申請書提出締切日 第1期: 募集中止 第2期: 7月15日(水) 第3期: 10月19日(月)予定</p></div>	<p>申請書を所属する学科へ提出してください。学科内締切日は、各学科で設定されますので、学科担当者へ確認してください。</p> <div data-bbox="1288 1169 1870 1409" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"><p>■ 申請書提出締切日 第1期: 募集中止 第2期: 7月27日(月) 第3期: 10月19日(月)予定</p></div>

5. 採 用 人 数

基盤能力開花コース : 25～30名程度(給付額により異なる)

専門性深化コース : 30～35名程度(給付額により異なる)

6. 連 絡 質 問

事務局 学生課 011-688-2380

gakusei@hus.ac.jp